

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	3	類型	カレッジコース
教科書	My Way Logic and Expression Ⅱ (三省堂)			副教材	My Way Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK(三省堂)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				知	思	主		
1 学期	4	Lesson 1 I Love My Country	これまでの経験についての会話		◎	○	<p>学習のねらい</p> <p>1学期は完了形、未来表現、助動詞、不定詞について学びます。 2学期は、主に動名詞、分詞構文、比較表現、関係代名詞、関係副詞について学びます。 3学期は無生物主語の構文、強調構文や同格などのthatを使った表現について学習します。 また、トピック別の単語やフレーズ、つなぎ語の使い方などを身に付けます。 文法事項や表現を定着させるため、できるだけ多くの問題を解くとともに、身に付けた表現を使って言語活動を行います。</p> <p>学習の目標</p> <p>英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。</p>	
			好きな場所の紹介		○	◎		
			完了形、未来表現		◎	○		
	5		Lesson 2 The New Wave of Sports	週末の予定についての会話		○		◎
				助動詞	中間考査	◎		◎
			Lesson 3 The Future of Technology	印象深かった授業について		○		◎
	6			受動態		◎		○
				贈り物について説明する		◎		○
				不定詞（3つの用法）		◎		○
	7		Lesson 4 Rediscover Kabuki	日本文化についての会話		○		◎
					期末考査	◎		◎
				日本文化を紹介する発表		◎		○
		1学期のまとめ	重要表現の確認		◎	○		
2 学期	8	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	科学技術についての会話		◎	○	<p>評価の観点</p> <p>知識・技能</p> <p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用し論理的に表現できる技能を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して場面に合った適切なコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	
			社会の状況と職業について		◎	○		
			動名詞、分詞構文		◎	○		
	9	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	大きなものを身近なものに例える			◎		○
				中間考査	◎	◎		
				比較表現（倍数表現・比較の強調）		◎		○
	10	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	火星についての会話			◎		○
			火星の生活についてのレポート			○		◎
			関係代名詞		◎	○		
	11	Lesson 8 Language and Society	旅行に関する会話			○		◎
			ある仮定の上での会話			◎		○
			仮定法	期末考査	◎	◎		
12	Lesson 9 Send Our Love to the World	悩み事を伝える会話		◎	○	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>		
		社会問題についての発表			◎		○	
		否定・代名詞を使った表現		◎	○			
3 学期	1	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	調べ学習での会話		◎	○	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	
			無生物主語構文		◎	○		
			関心のある人物の紹介			○		◎
			学年末考査	◎	◎			
	2	家庭学習						
		"						
		"						
3								

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のポイント】

- 既習の内容を土台にして、新しい内容を学習していきます。
- 学習した重要事項を使って、積極的に表現活動に取り組んでください。
- 対話文は実際に声に出して読み、内容を理解してください。
- 英語の構文を理解し、英語での表現に活かしてください。
- 表現に必要な語彙を積極的に学習していきましょう。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。英語を表現するのに必要になります。
- 各種検定に挑戦しましょう。普段の授業で力をつけ、自分の英語力を試してみましょう。

【授業】

- 週に2回の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ① Model Conversationの対話文を読みます。
 - ② 重要構文、文法事項を確認します。
 - ③ 自分で英作文したり、練習問題やワークを解きます。
- 対話文の内容把握と練習問題を解いて授業に臨んでください。
- 板書に加えて、口頭で示された重要ポイントもノートに書いてください。
- 習った重要事項を使って、積極的に表現活動に取り組んでください。

【家庭学習】

- その日のうちに授業の復習をし、授業内容の定着を図ってください。
- 次回の学習するLessonの対話文の内容把握と練習問題を解いてください。
- 分からないところがあっても、できるところまで自分の力で英作文しましょう。
- 辞書、単語帳、文法書を使用し、英語の表現力向上につなげてください。

【定期考査】

- 授業で学習した内容が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、文法事項、新出語彙などを再確認しましょう。
- 目標となる得点を設定して、考査範囲全体をまんべんなく学習しましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均